

2011年6月30日

関係各位

会社名:三井物産株式会社
代表者名:代表取締役社長 飯島彰己
(コード番号:8031)
本社所在地:東京都千代田区大手町
一丁目2番1号

米国テキサス州のシェールオイル/ガス開発生産プロジェクトに参画

三井物産株式会社(本社:東京都千代田区、社長:飯島彰己)は、当社子会社の米国 Mitsui E&P Texas LP(以下 MEPTX 社)を通じて、米国 SM Energy Company(以下 SME 社)が米国テキサス州のイーグルフォード・シェール・エリアにおいて開発・生産中のシェールオイル/ガス開発生産プロジェクト(以下プロジェクト、添付取得資産位置図ご参照)に参画します。6月29日(米国時間)に SME 社と MEPTX 社間で事業参画契約を締結、契約上の先行要件を充足後発効の予定です。

事業参画契約の内容

買主	Mitsui E&P Texas LP
売主	SM Energy Company
取得対象資産	SME 社がプロジェクト対象地域に保有する以下の権益の内、12.5% ①持分面積約 160km ² のイーグルフォード・シェール層 ②上記①エリアに加え約 30km ² の合計持分面積 190 km ² のピアサル・シェール層(イーグルフォード・シェールの下に位置)
取得対価	約 6.8 億米ドル(SME 社の将来開発費を肩代わり負担)
オペレーター	Anadarko Petroleum Corporation(以下アナダルコ社)

プロジェクト概要(MEPTX 社持分)

ピーク時生産量	原油換算約 2.0 万バレル/日
開発総費用	約 12 億米ドル
生産期間	約 30 年間

本プロジェクトは、累計千本超の井戸を10年間程度に亘り順次掘削する計画であり、その都度、資金を支出していくこととなりますが、既に一部生産を開始しており、その生産物は北米市場にて販売されております。加えて、MEPTX 社と SME 社は、将来のイーグルフォード・シェール・エリアでの事業拡大を目指し、同エリアを対象として新規権益を共同取得していくことでも合意しました。

これまで開発が難しいと考えられていたシェール層は、近年の技術革新により、天然ガスを低コストで大量生産することが可能となり、最近では原油の生産が盛んになってきています。イーグルフォード・シェール・エリアは、一大需要地であるテキサス州に位置し、また付加価値の高い軽質原油を産出します。このため、当社が既に権益を保有しているマーセラス・シェールと並んで、米国において最も有望なシェールオイル/ガスの生産地の一つとされています。本プロジェクトは、こうした有望な生産地において技術面・財務面でも優れたパートナーと共同参画する案件であり、今後長期に亘り当社収益に貢献する基盤事業になると期待しています。

シェールオイル/ガス田の存在は広く世界で確認されていますが、当社は既に米国ペンシルベニア州とポーランドで同事業に参画しており、これまで蓄積してきた豊富なシェールガ

ス開発の知見およびネットワークを利用して、さらなるシェール事業拡大を目指していきます。当社は、資源・エネルギー事業を重点分野の一つと位置付け、引き続き原油・天然ガスの優良資産の取得に取り組み、良質でバランスの取れた事業ポートフォリオの構築を目指していきます。

尚、本件による当社の今期連結業績への影響は軽微です。

MEPTX 社概要

名称	Mitsui E&P Texas LP
所在地	米国テキサス州
設立年月日	2011年6月24日
出資構成	三井物産株式会社 100%

SME 社概要

名称	SM Energy Company
所在地	米国コロラド州
上場証券取引所	NYSE
従業員	約 600 人
主な事業内容	石油ガス開発・生産事業
連結総資産*	約 31 億米ドル
日量生産量*	約 7 万バレル

* 2010年12月期

シェールオイル/ガスとは：

根源岩（油やガスの基となる有機物に富んだ泥質岩のこと）内に貯留されている原油/天然ガスです。従来から北米を中心に世界でその豊富な資源量は確認されていましたが、生産性が低かったことから商業化されていませんでした。昨今、水平井・水圧破碎といった技術の進歩を受け、低コスト生産が可能となり開発が活発化しています。

以上

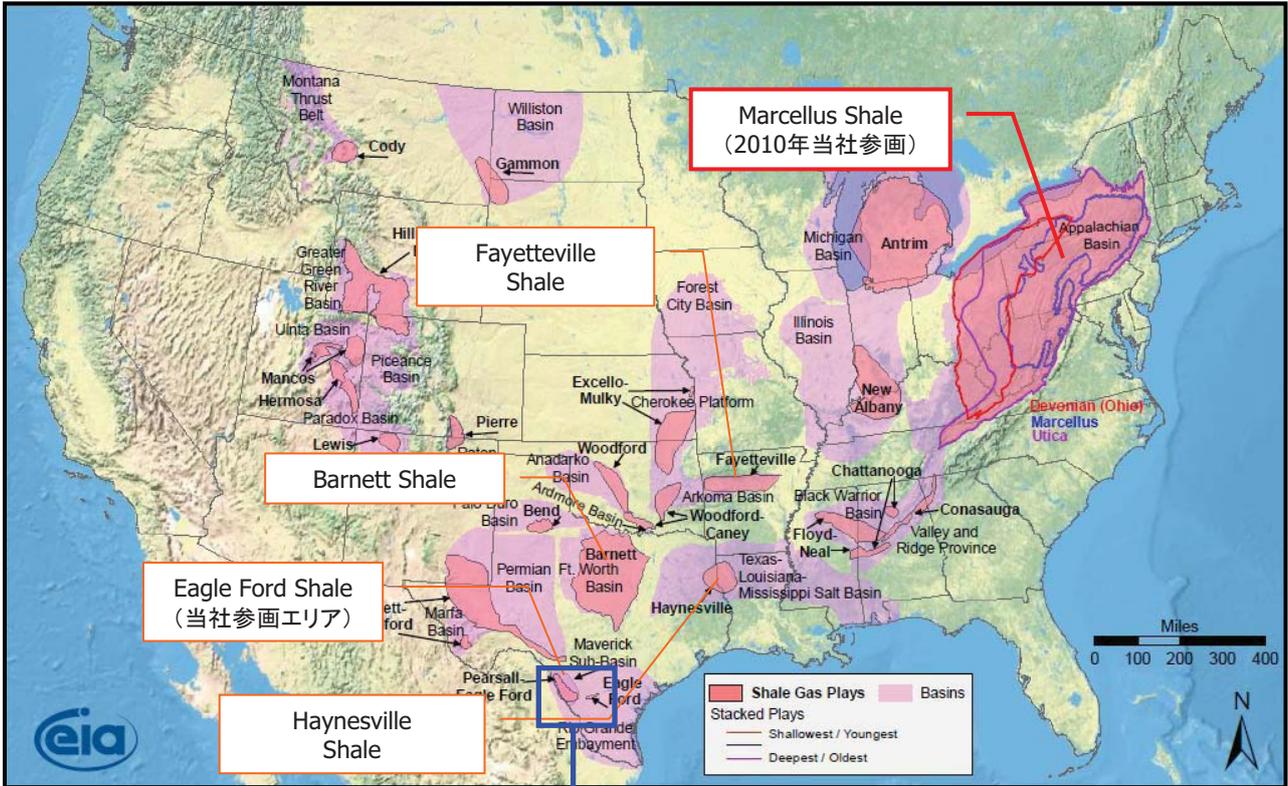
添付資料： 取得資産位置図

本件に関する問合せ先：三井物産(株)
 IR 部 TEL:03(3285)7910
 広報部報道室 TEL:03(3285)7540

ご注意：

本発表資料には、将来に関する記述が含まれています。こうした記述はリスクや不確実性を内包するものであり、経営環境の変化などにより実際とは異なる可能性があることにご留意ください。また、本発表資料は、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

北米の主なシェールガスエリア



【米国エネルギー省資料を基に当社にて作成】

プロジェクト対象エリア

